

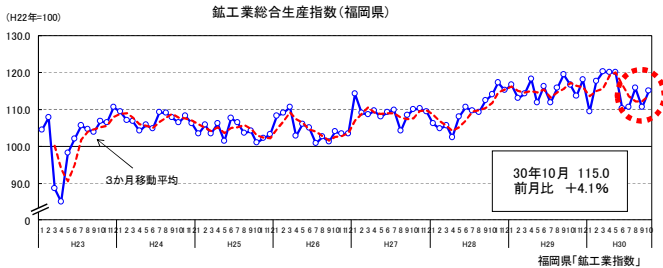
ふくおかの経済

平成30年12月号



生産 高水準で推移

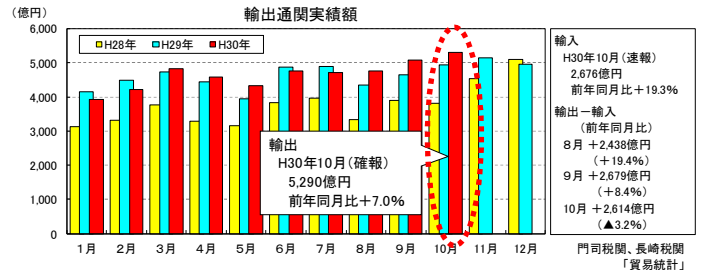
10月の生産指数は、輸送機械工業などが上昇して、2か月ぶりに前月上回り、高水準で推移しています。



鉱工業生産指数は、平成22年の生産水準を100として、その変化を表しています。

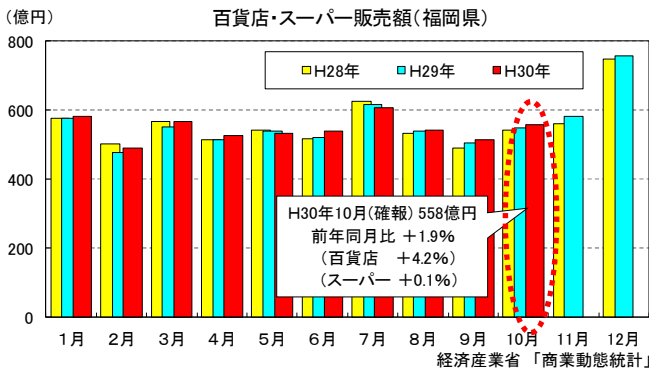
貿易 輸出は高水準で推移、輸入は緩やかに増加

10月の輸出は、香港・ベトナム向け半導体等電子部品などの増加により3か月連続で前年を上回り、単月の実績額として過去最高となりました。



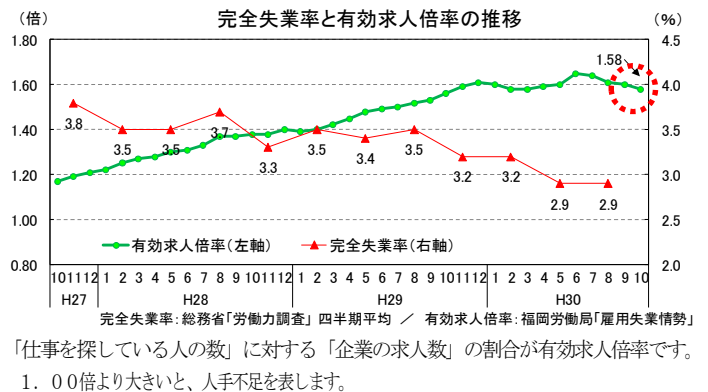
消費 緩やかに増加している

10月の百貨店・スーパー販売額は、化粧品・高額品の動きが引き続き好調だったことなどから、3か月連続で前年を上回りました。



雇用 着実に改善が進んでいる

10月の有効求人倍率は1.58倍と、4か月連続で前月を下回ったものの、高水準で推移しています。



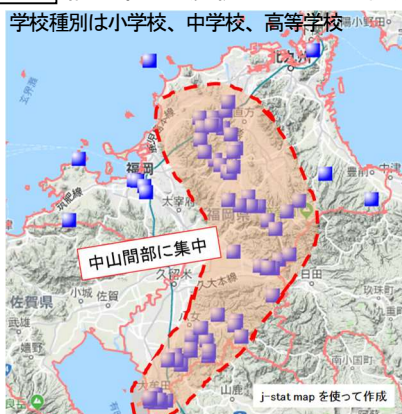
今日のトピック 廃校の利活用と課題 ~学校や地域ならではの体験がカギ~

○朝ドラの『半分、青い』では廃校を活用したシェアオフィスが登場して話題となりました。廃校は全国で毎年500校ほど発生しており、福岡県でも少子化、市町村合併の影響などから、14年間(平成14~27年度)で119校が廃校となっています。

○文部科学省の調べでは、全国の廃校の利活用率は7割ほどで、2割は今後の利用状況すら決まっています。その理由としては施設の老朽化に加えて、交通アクセスのし辛さなどが挙げられています。

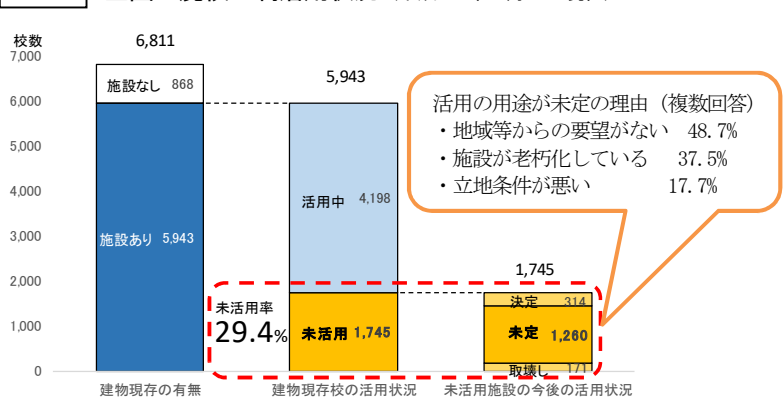
○県内では、「コスプレ文化祭(鞍手町)」や「稲刈り体験教室(八女市)」など、ユニークな体験を提供することで廃校の利活用を図る事例もあり、遠くまで足を運んでもらうためのコンテンツを見出すことが解決の一つの手段と考えられます。

図1 福岡県内の廃校の主な立地状況



資料) 文部科学省「学校基本調査」のデータに基づき筆者作成

図2 全国の廃校の利活用状況(平成28年5月1日現在)



資料) 文部科学省「廃校施設活用状況実態調査」

(トピック担当: 佐藤 J)